

陳 情 書

2015年、駆け込み需要や円安による輸入原材料の高騰などにより国内総生産（GDP）は大きく落ち、安倍首相は10月1日、消費税率を8%から10%に引き上げることの中止を宣言し、当時の通常国会で2017年4月に「景気条項を削除」し10%に引き上げるなどを盛り込んだ政府予算案を可決・成立させました。しかし、更にそれも延期し、今年の10月、政府は10%に引き上げることと決定しています。現在、滞納税額合計6,165億円のうち約3,300億円が消費税となっています。このような実態は、消費税が価格に転嫁できず、いかに国民負担になっているかを天下に知らしめることとなるため、国税庁は滞納者への差し押さえなどの処分にやっきとなっています。

軽減税率適用による8%と10%という複雑化や、インボイス制度など、国民に負担が多いことだらけの状況の中で10月に消費税率を再び引き上げれば、格差の拡大と地域商店、中小企業の経営をますます圧迫することは明らかです。

つきましては、次の点で貴議会として決議をされ、安倍首相と国会へ意見書をあげて頂きたいようお願い申し上げます。

(陳情事項)

- 1 安倍首相に消費税の増税を撤回し、2019年10月の10%への引き上げをやめるよう貴議会として決議し、意見書をあげてください。